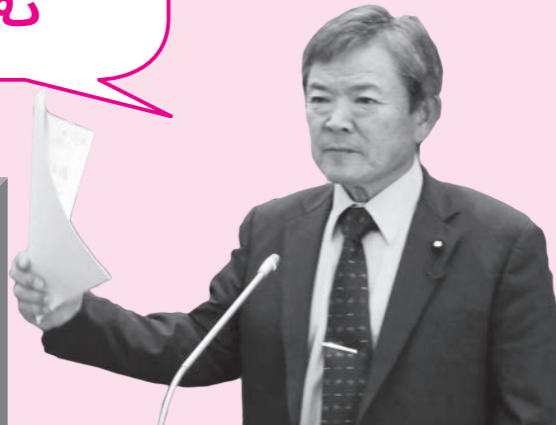


## 住宅団地内の 道路改修工事を望む



渡辺 俊彦



町長

限られた予算で効率的に  
実施していく



傷みが激しい住宅団地内道路

**質問** 上下水道整備のため掘り返された住宅団地内の道路は傷みが激しく、危険である。道路改修の計画はあるのか。

**答弁** 町長 幹線町道や住宅団地内道路の舗装補修工事については、限られた予算の中で効率的かつ効果的な舗装補修を実施し、安全で快適な道路保身に努めてまいりたい。

**質問** 農業用地の排水路に土砂が堆積し雑草が生えてしまっている。優良農地の保全や豪雨対策の観点から整備の必要性があるが、町の取り組みは。

**答弁** 町長 優良農地の確保や豪雨対策の観点から、排水路整備は重要であると認識している。蛭堀については、今年度中に土砂の除去及び雑草の除草作業を実施する。今後も重要なことであるとの認識から、適正な管理を心がけたい。

**質問** 地方創生について、「玉村町版総合戦略」策定の方針と具体的な進捗状況を伺う。

**答弁** 町長 玉村町版総合戦略及び人口ビジョン策定のため、たまむらの未来創生本部、有識者会議を重ねて、ようやく完成の運びとなった。策定方針は、以下の5項目とした。①高崎玉村スマートICや東毛広域幹線道路整備を活用したまちづくり。

②三市（高崎市・前橋市・伊勢崎市）に囲まれた地域特性を活かしたまちづくり。③道の駅 玉村宿を活かすまちづくり。④民間と連携したまちづくり。⑤食肉卸売市場、食肉学校、フェリーチエ玉村国際小学校など事業者と連携して地域経済を循環させる。⑤リデザインを重視したまちづくり。

**質問** 平成28年度予算編成について、方針と重点を置く事業を伺う。

**答弁** 町長 引き続き文化センター周辺地区の土地区画整理事業や、東毛広幹道アクセス道路の整備に取り組む。また「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた事業にも取り組む。

## 洪水ハザードマップの 見直しは



石内 國雄



町長

国・県の浸水想定区域の変更  
に合わせ見直す



見直しが検討されている洪水ハザードマップ

**質問** 昨年は関東・東北豪雨等の災害もあった。町の防災対策の見直しや今後の計画に対する考えを伺う。

また、水害時の避難発令の基準やハザードマップの見直しの考えと、その配布方法は。

**答弁** 町長 氾濫危険水位基準等の見直しがあり、河川の水位観測所の水位基準が変更された。

水位基準には、水防待機水位・氾濫注意水位・避難判断水位・氾濫危険水位が設定され、避難判断水位で避難準備情報の発令、氾濫危険水位で避難勧告の発令を想定している。

国は今年度中に浸水想定区域図の見直しを速やかに図ることとしており、国及び県の浸水想定区域図の見直し結果に基づき変更したいと考えている。新ハザードマップを作成した際には、每户配布を考えている。

**質問** 18歳選挙権に対する玉村町の取り組みとその現状はどうか。

**答弁** 町長 若者への選挙制度の周知や政治参加の意識を高める必要を認識している。玉村高等学校で県選管と共同で、選挙の概要説明、投票所の再現

投票の模擬選挙を実施する。町選挙管理委員会では、町広報やホームページなどで啓発していきたい。

**質問** マイナンバー制度の取り組み状況を伺う。

**答弁** 町長 個人番号（マイナンバー）が記載された通知カードを11月14日から簡易書留で順次配達している。不在や転居不明等で町に戻された通知カードは、町で管理・保管し、本人からの申し出により交付している。

**質問** 町で管理・保管している期間や住基カードとの関連は。

**答弁** 町長 町での通知カードの保管は概ね3カ月で、住基カードは10年間有効となっている。マイナンバーの個人カードの申請の際には住基カードは返却してもらおう。